

令和 7 年12月16日

幕別町議会議長 寺林 俊幸 様

議会運営委員会委員長 小田 新紀

議員派遣結果報告書

令和 7 年 9 月 25 日に決定された議員派遣について、次のとおり報告する。

記

1 派 遣 名

町民と議会の意見交換会

(1) 目 的

議員定数及び議員報酬の見直しに伴い、町民の意見を広く集め、地方自治の根幹でもある議員の在り方や議員の数について、住民参加の下で考える機会を設けることを目的とする。

(2) 派遣場所

- ・ 札内コミュニティプラザ
- ・ 幕別町民会館
- ・ 忠類コミュニティセンター

(3) 派遣期間

- ・ 令和 7 年10月18日（1 日間）
札内コミュニティプラザ
- ・ 令和 7 年10月20日（1 日間）
幕別町民会館（午前）、忠類コミュニティセンター（午後）

(4) 派遣議員

- ・ 委 員 長 小田新紀 副委員長 野原恵子
- ・ 委 員 塚本逸彦、内山美穂子、酒井はやみ、荒 貴賀、
岡本眞利子
- ・ 議 員 畠山美和、山端隆治、長谷陽子、石川康弘、小島智恵、
藤谷謹至、谷口和弥、藤原 孟

・議 長 寺林俊幸 副 議 長 中橋友子

(以上17名)

(令和7年10月18日及び20日 田口廣之議員欠席)

(令和7年10月20日 (忠類) 谷口和弥議員欠席)

(5) 派遣内容

別添「令和7年度町民と議会の意見交換会報告書」のとおり

2 派 遣 名

十勝町村議会議員研修会 (十勝町村議会議長会主催)

(1) 目 的

議会活動に必要な知識の習得及び情報収集を行い、議会機能向上に資するため。

(2) 派遣場所

幕別町民会館

(3) 派遣期間

令和7年10月30日 (1日間)

(4) 派遣議員

・副委員長 野原恵子

・委 員 塚本逸彦、内山美穂子、酒井はやみ、荒 貴賀、
岡本眞利子

・議 員 畠山美和、山端隆治、長谷陽子、石川康弘、小島智恵、
谷口和弥、藤原 孟

・議 長 寺林俊幸 副 議 長 中橋友子

(以上 15 名)

(欠席：小田新紀議員、藤谷謹至議員、田口廣之議員 3名欠席)

(5) 派遣内容

・内 容 講演

・演 題 「宇宙産業が拓く十勝地域の可能性」

・講 師 S P A C E C O T A N株式会社

代表取締役社長兼CEO 小田切 義憲 氏

・所 感 大樹町を中心に進む北海道スペースポート（H O S P O）構想は、民間主導によるアジア初の商業宇宙港を目指す壮大な取組であり、地域発の新たな産業創出の可能性を強く感じた。小田切氏の講演では、1985年の活動開始から約40年にわたり継続してきた挑戦の歴史と、現在の S P A C E C O T A N 株式会社による運営体制が紹介された。特に、ロケット射場の整備や将来の3,000m滑走路構想など、宇宙輸送インフラの整備が地域の経済・雇用に波及する具体的ビジョンが示され、地方からでも世界とつながる時代の到来を実感した。

また、衛星データを活用したスマート農業など、宇宙技術が十勝の基幹産業である農業の効率化・高度化に貢献できる点は大変示唆に富むものであった。農業と宇宙産業の融合による地域課題解決は、まさに次世代の地域創生モデルといえる。講演の最後には、「自分たちの町で何ができるかを考えることが大切」との言葉があり、幕別町としてもこの潮流を自らの地域振興にどう結びつけるかを検討していく必要性を強く感じた。

宇宙産業という大きなテーマを、私たちのまちづくりにどう活かせるか、引き続き関心を持って取り組んでいきたい。



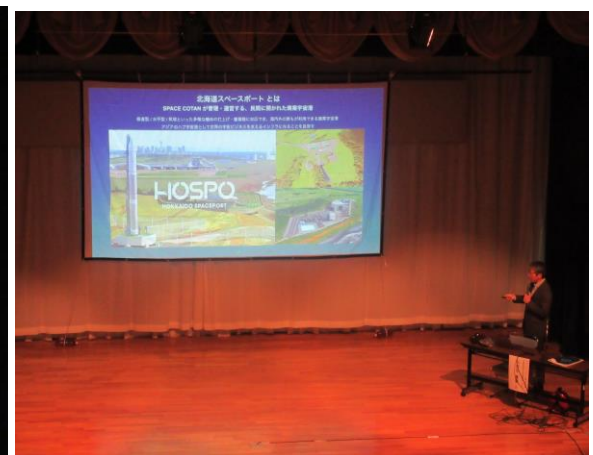
(幕別町議員席)



(十勝町村議会議長会 高瀬会長挨拶)



(講師 小田切義憲氏)



(講演の様子①)



(講演の様子②)



(十勝町村議会議長会 堀田副会長挨拶)

3 派遣名

議会運営員会議員研修会（議員会合同）

(1) 目的

議会活動に必要な知識の習得及び情報収集を行い、議会機能向上に資するため。

(2) 派遣場所

幕別町役場 3階会議室

(3) 派遣期間

令和7年11月14日（1日間）

(4) 派遣議員

- ・委員長 小田新紀 副委員長 野原恵子
- ・委員 塚本逸彦、内山美穂子、酒井はやみ、荒 貴賀、
岡本眞利子
- ・議員 畠山美和、山端隆治、長谷陽子、石川康弘、小島智恵、
谷口和弥、
- ・議長 寺林俊幸 副議長 中橋友子

（以上15名）

（欠席：藤谷謹至議員、田口廣之議員、藤原 孟議員 3名欠席）

(5) 派遣内容

- ・内容 講演
- ・演題 「これからの地方議会の役割について」
- ・講師 北海道大学公共政策大学院 教授 山崎 幹根 氏
- ・所感 昨年に引き続き、山崎幹根氏の研修を受講した。研修では、地方議会における議員が果たすべき3つの役割（監視機能、決定機能、代表機能）について復習を兼ねて学んだ。特に、議員個々が自らの問題意識に基づき行政運営に対する質問や政策的提言を行うこと、そしてエビデンスに基づいた論理的な主張によって一般質問の質を高めていくことの重要性を再認識した。

次に、住民に近い地方議会を実現するための工夫につ

いて、斜里町議会および羅臼町議会の住民参加の事例を挙げ、「議会モニター制度」や「議会サポーター制度」について学んだ。我が町議会においては、先日、議員定数や議員報酬に関する町民との意見交換会を終えたばかりであるが、その際、町民から「議員活動の実態が分かりにくい」との意見が出され、住民との距離を感じる場面があった。

人口減少が進行しても行政施策の数が減るわけではなく、新たな問題が継続的に発生していく中で、いかに町民との距離を縮め、町民の意見を集約し議会に反映させるかが重要である。



(石川議員会会長 挨拶)



(講師：山崎幹根教授)



(会場の様子)



(寺林議長 挨拶)

令和7年度 町民と議会の 意見交換会報告書

令和7年10月18日(土)、20日(月) 開催



令和7年10月
幕別町議会

－ 目 次 －

1	開催状況	1
2	会議録（概要）	1～10
3	参加者アンケート集計結果	11～15

1 開催状況

開催日時	会 場	参加人数（人）
10月18日(土) 午後 7 時00分～	札幌コミュニティプラザ集会室 1・2	15人
10月20日(月) 午前10時00分～	町民会館 2 階講堂	9 人
10月20日(月) 午後 6 時00分～	忠類コミュニティセンター大ホール	5 人

2 会議録(概要)

【意見交換の内容】

【札幌会場】グループ「いぬ」



【議員定数】

■ 現状維持

- 議会は町民の声を聴いていくため。
- 若い人が出にくくなる。友人知人が多くないと出られない。
- 定数は忠類と合併して難しい面もあるから、人口だけでは比較できないと思う。
- 人口比も考えるが、1 人でも多くいたほうが町民の意見を汲み取れる。
- 定数を減らすのは無投票というのがあげられていたが、定数には関係ないと思う。
議会が何をしているのか、どういうことが議員の仕事なのかがよく見えていないのが立候補に関わっているのではないか。人口だけで決まるものではなく、議会活動にとってどうか考えないといけない。現状維持として出てくる人を増やす活動をすべきである。
- 定数は減らさず、なり手がなかった対応として色々と工夫を。魅力ある議会にすれば出たいという人も出てくるのではないか。
- 定数を減らせば議会が活発になるわけではない。

■ 減らすべき

- 同規模の町も定数割れしており、人口減少から考えると仕方ない。議員の仕事が見えづらいから、ネットでも見れるようになればなり手も出てくる。

■ その他

- 無投票でも公約を知らないままにならないよう選挙公報を出してほしかった。
- 町民が議会のことを知ればやってみたいと思う人がいる。
- 本会議がまじめすぎて面白くない。
- 発信の工夫をすれば議会への要望なども出てくるのではないか。
- 広報で議員の活動を紹介してもいいのではないか。
- 議会だよりと町の広報に差がある。法律用語が多く、もう少しわかりやすいものにしてほしい。
- 若い人が住みたくなる魅力ある町にするには色々な意見が反映できる議会がいい。

- 兼業はなかなか難しいのではないかな。
- なり手不足でいうと、現役の人は子育てもあって大変なので夜間やオンラインを活用してはどうか。現役の人がやりやすい工夫が必要である。
- 町への思いをもって立候補してもらうのが一番。選挙にならなかったのは議員に魅力を感じなかったのだと思う。
- 議員はやりがいのある仕事だとアピールしてもらえたらいい。

【議員報酬】

■ 増やすべき

- 議員は一般の労働者ではないが、兼業でないと無理に見える。政策活動費がないなら現状の報酬額ではきつい。
- 生活できる給料というのは30万円くらいではないかな。
- 21万2千円では生活はできない。自腹で色々払うことになる。さすがに44万円にはならないが。

■ その他

- 子育て中の人だと手当などがないと生計を立てるのは大変だと思う。
- 一昔前はボランティアでやっていたけど、今はそうはいかない。給与とは違うというふうにはならない。
- 町民生活は大変な中で5万円上げるというのはどうなのかなと。どの額がいいかは難しい。

【その他の議論】

- 時代はタブレットやネットを活用していくようになると思う。

【札幌会場】 グループ「くま」



【議員定数】

■ 現状維持

- 減らして町民の声を聴き取れるのか。議会の仕事の質が落ちたら本末転倒である。

■ 減らすべき

- 現実を考えると町民は減らすべきと考える人が圧倒的に多いに決まっている。人口減少であるのに、現状維持がいいというのが理解できない。
- 資料の類似団体を見ると幕別町は多い。減らすと議会として機能しなくなるのか。常任委員会など類似団体ではできている。14~16人の定数では難しいのか教えてほしい。
- 減った中でも活動できるならそれでいい。

■ その他

- 削減したらどのように議会運営が効率化されるのか、よくわからない。
- 少子高齢化や人口減少は、町内会や老人会など色々な組織が同じ悩みを抱えてい

る。もっと根本的問題を考える必要があるのではないか。

- 若い人や若い女性がなぜならないのか、ただの数字合わせはよくない。議員自らの改革として、こうしないと若い人を呼び込めないというのを出してほしい。

【議員報酬】

■ 現状維持

- 止むを得ない気もするが、もっとどん底にいる町民もたくさんいる。年金暮らしで年金が上がらない。上げるとするなら、町民の暮らし向上のため国に要望書を出すとか町民のための活動をもっと見せてほしい。

■ 増やすべき

- 20万円そこそこで生活するのは相当厳しいので上げて良いが、議員の質が成長してもらわないと駄目である。今のままでは、仕事を辞めてまで議員になろうという人はいない。金額を上げて、町を良くしようという若者が出てきてくれるのは大賛成である。
- 今の金額だと若者がリスク背負ってまで議員をやろうと思わない。新しい人材確保のため上げたほうが良い。
- 定数と報酬をリンクして総額があまり変わらない中で検討するのが良い。報酬額を31万2千円にすると、現行より月額10万円上がり、期末手当を含めると年間で150万円位上がることとなり、上がった分を町民に向けてしっかりと説明できるのであれば問題ない。

■ その他

- 議員が活動するのにどれくらいかかるのかわからないので、一概に言えない。

【その他の議論】

- 議員は町の5年後をどう考えているのか。人口減少や高齢化が進む中で、幕別町は忠類村と合併し、今後人口が2万人になってもこういう町にするんだというまちづくりのビジョンを示してほしい。
- 議会と町政が一体となってやっているところを見えるようにしてほしい。
- 具体的に町民の声をどのように聞いているのかわからない。
- 要望などをどうやって議員に伝えたらいいかわからない。そもそも議員が何をしているのかわからない。様々な活動に参加しているとあるが、議員と直接つながることは難しい。
- 町民の意見を幅広く聴くなら、こんな人数では参考にならない。町民にアンケートをやってもいい。ただ意見交換会をやられても困る。
- 無投票になったことは何が問題なのか。
- 無投票になったのは議員のせいではない。町民の意思がさせてる。町議が無投票ですぐ定数削減に結び付けるのはおかしい気がする。
- 町議だけではなく、町民も考えないといけない。



【議員定数】

■ 現状維持

- 札幌は商業施設の撤退や廃業が続いているが、音更木野市街とは対照的である。行政にその対応や振興政策を提言できる議員の登場を期待して現状維持を認める。
- 大規模酪農は糞尿処理が難題なのに、町独自の政策や議員の提言が見えない。積極的に提言や酪農家の現状を常に聴き取ること等ができる意欲ある議員が誕生するなら現状維持で良い。

■ 減らすべき

- 役場がある本町市街地中心街に雑草や雑木が繁茂している。その市街地の様子に関心のない議員は何を目的に議員になったのかわからないので、遠慮してもらいたい。定数は減らすべきである。

【議員定数・議員報酬】

- 毎回の議会だよりを見るが、改選以来一度も質問していない議員がいるので、定数を減らすなら報酬引上げに賛成する。
- 年金引上げについての国への請願は多数決で否決した。年金依存の立場を理解できない議員はいらない。大幅に削減すべきであり、その場合は報酬の引上げは当然である。



【議員定数】

■ 現状維持

- 合併の町村で目が行き届くよう現状維持し、機能を発揮してほしい。

■ 減らすべき

- 選挙にならない状況は駄目であり、削減すべきである。
- 人口減において削減し、報酬もからめて少数精鋭で行うべきである。
- 町民にツケが回らないよう削減を前提に将来を見越す中で考えてほしい。

■ その他

- 議会だよりで議論の過程を知りたい。活動を細かく知らせるべきであり、議員個々の考えがわかるような広報にしてほしい。
- 議員の活動が町民から見えない。数が多くても活動内容を聴けないので、接触を増やすべきである。
- 町内会単位に出向いて対話してほしい。
- 議会が周知しても関心がないのが現状である。意見を聴く場をもっと作ってほしい。

【議員報酬】

■ 現状維持

○上げるべき議員とそうでない議員がいる。現状では上げられない。

■ 増やすべき

○町民の暮らしが大変な中にあるので、定数削減した上で報酬を上げていくべきである。

○現実を見据えて、活発に活動ができるような金額にすべきである。

■ その他

○定数と報酬は連動するべきである。

【その他の議論】

○4年間の公約をどう考えるのか。

○ボランティアで清掃している町民もいるので見てほしい。

○財政を考えた改革を求める。

○町民の意見を聴いてほしい。

【幕別会場】 グループ「うさぎ」



【議員定数】

■ 現状維持

○定数は現状維持。常任委員会の人数を決めて定数が決まるのではないかと。常任委員会の人数は現状多いので数をどうするか。途中議事録の中で議論があったが、結論が追い付かなかったので議論しないといけない。

○人数が減ると住民の声が届きにくいのではないかと。

○定数は今のくらいで良い。高齢化が進んで、町のことがわからないとか意見が言いづらいことがある。町議が町民の声を聴き取る必要がある。特に、忠類や農村は離れているので難しい。今、忠類の人口も減っているが、合併した以上忠類の人の声も反映すべきである。SNSを使えないと町に対する意見をホームページで見るとかスマートフォンで発信するとかできない、慣れない、使えない人がいるので議員に相談することが必要。その点でも減らさないほうが良い。

■ 減らすべき

○定数は極端に減らしたほうが良い。問題は質を高めること。減らして地域の声が届かなくなるのは幻想で、気持ちがある人が出るべきである。

○長く町内会長をやってきたが、ほとんどの人が定数は多いと思っている。6～7人多いと思っている人が多い。

○町の財政を考えないといけない。

■ その他

○現状に基づいて、10年後はこうなるから、こういう方向でいこうという住民が納得する形で決めてほしい。中間をとってこうするとかはやめてほしい。

- なり手不足の観点では、定数を縮小すると立候補する人数が減ってしまうきらいがあるので考慮していただきたい。
- 議員の質を上げないといけない。質を担保するために定数を減らしても、今の選び方では質は担保できない。

【議員報酬】

■ 増やすべき

- 報酬を上げることで質を上げる。地域の色々なことに対応する能力を必然的に持って代表として出るのが大事だが、最近はそこが希薄になっているのが非常に問題である。それを解消するのは、今の現状に合った報酬の改善であろうと考える。
- 人事院勧告の上がり方で、何年かずっと報酬が上がっていないので、町民がわかるレベルで上げたほうが良い。役場職員が人事院勧告で上がる程度で良いのでは。24万円から25万円位の程度であれば、町民も納得するのではないか。
- 大まかなものとして率としてだすのではなく、年代ごとの数字等細かい数字をもとにして資料を出してほしい。基礎になるところがいい加減では駄目。基礎になっているのが町長の報酬もおかしい。

■ その他

- 現状維持から25万円程度。
- 頑張っている議員なら30万円、40万円の報酬を払っても良い。ただし、報酬は生活給ではないので、物価高はあまり理由にならない。
- 現行報酬月額21万2千円でも実際は期末手当を入れれば約29万円になるので、期末手当を含めて議論してほしい。
- 原価方式そのものがおかしい。
- 報酬体系は他所と違う体系を作らなければ質が上がらない。一生懸命にやってくれる人には、それに見合った報酬をやらないといけない。

【その他の議論】

- それぞれの地域の代表として意見を町議会に届けるものもあるが、それを超えて幕別全体としてどうなんでしょうと考えられる人が必要である。
- 議員として立候補して町政に反映すると言ってるのに議会で発言されない人がいた。資質の向上は考えないといけない。
- 議員が議会の中で討論することと、町の仕事を運営推進することは同じと思っている。議員はそういう仕事をバックアップしてくれればいい。
- 議事録もあるものとなないものが結構ある。議運の議事録は1個も出てこない。中身がわからないから何が適切かわからない。
- 定数や報酬は選挙近くなると毎回議論されていると聞く。大々的な議論はどのくらいの頻度で行われているのか。
- 幕別町議だけが、他町村と比べて活発にやっているというわけではないのか。



【議員定数】

■ 減らすべき

- 何故定数に満たなかったのか、人口に対して定数が多いのではないか。民間では経費削減のため節約をしている。町は、財政が厳しい中で定数を現状維持で報酬を上げるとことは民間では考えられない。
- 定数がとてつもなく多く、14人でも大丈夫ではないか。現状維持はおかしいので、削減でよいのではないか。
- 報酬を上げてでも定数は16人が適正ではないか。

【議員報酬】

■ 増やすべき

- 報酬が低い。25万円位がいいのではないか。
- 5万円から7万円位上げて議員の質を上げるべきである。

■ その他

- 議会の見える化が必要である。発信もない。広報がおもしろくない。
- 議員になるためのきっかけ作りとして、講習会（例として栗山町の議員の学校）を開催してはどうか。
- 議会優先として考えていない人が多い。

【その他の議論】

- 町民との距離を縮めるべき。



【議員定数】

■ 現状維持

- 現在の19名が妥当だと思う。
- 前回の選挙で無帳票になった、なり手なのか魅力なのか住民の意識が気になる。
- 音更の人口4万人で20名から18名の記事をみた。幕別町で定数を見たときどうなのか。

■ 減らすべき

- 定数を減らして、かわりに報酬をあげるべき。
- 定数の議論をするとき、いまの19人でどうなのか、委員会活動、活発なのか、議論できているのか、議員がどう思っているのか。
- 将来を見たとき。合併という事情、人口が少ないからどうなのかではないと思う、議員活動がどうなのか考えるべき。

【議員報酬】

■ 増やすべき

- 原価方式に疑問がある。
- 音更とは事情は違うが上げるべきと思う。
- 町に対する財源はどうか。見る必要がある。

■ その他

- 住民アンケートを考えてはどうか、住民の声をもっときくべき。
- 今回平日に設定されている意図は。
- 将来を考えたら、議員活動をもっと伝えてほしい。議員に手をあげかた考えてはどうか。
- 議会だより、議員の言葉がほしい、結果しかみえない経過は。
- HPやネットを活用してほしい。

【忠類会場】 グループ「うま」



【議員定数】

■ 現状維持

- 議員が町民の意見を聴き、どう町に提案できるかが問題であり、人数が多いほど町民の意見が反映される。少ないのは問題である。男性と女性が半々くらいがいい。

【議員報酬】

■ 増やすべき

- 多ければ多いほどいい。生活できるレベルの報酬が必要。ちゃんと報酬をもらってしっかりと仕事をしてもらう。
- 不足であれば上げればいい。
- 頑張った分で報酬を決めればいい。若い人達にとっては、それ相応の報酬が必要である。

■ その他

- 政務活動費のようなものを報酬とは別に与えて調査を深めていく必要がある。
- 活動に見合った報酬であればいい。

【その他の議論】

- 議員になるための育成する機会が必要ではないか。議員同士でフリートークのような話す機会がいるのではないか。
- 議員との接点が持ちづらい。意見を聴く機会をもっと増やしてほしい。
- 選挙が終わると別の政界の人に感じるのはなぜだろうか。議員の役割を認識してほしい。何期も議員をするのではなく、議員の新陳代謝が必要である。
- 会派の存在もよくわからない。個人の意見として質問してほしい。
- 時代に合ったものを作りあげるためにも、立候補しやすい環境を作る必要がある。どうして立候補しないのか、しっかり考えたほうがいい。
- 議員の活動についてよくわからない。議場において再質問をしっかりとしてもっと深掘りすべきだと思う。

【グループワーク】



グループ「いぬ」



グループ「くま」



グループ「ぞう」



グループ「とら」



グループ「うさぎ」



グループ「ぱんだ」



グループ「ひつじ」



グループ「うま」

【発表】



グループ「いぬ」



グループ「くま」



グループ「ぞう」



グループ「とら」



グループ「うさぎ」



グループ「ぱんだ」



グループ「ひつじ」



グループ「うま」

3 参加者アンケート 集計結果

参加者数	29
------	----

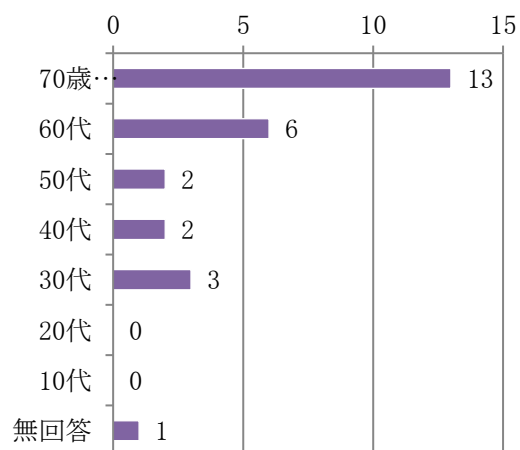
アンケート回答数	27
----------	----

(回答率 93.1 %)

問1 あなたの年齢は？

(人、%)

年齢	計	割合
70歳以上	13	48.1
60代	6	22.2
50代	2	7.4
40代	2	7.4
30代	3	11.1
20代	0	0.0
10代	0	0.0
無回答	1	3.7
計	27	100.0

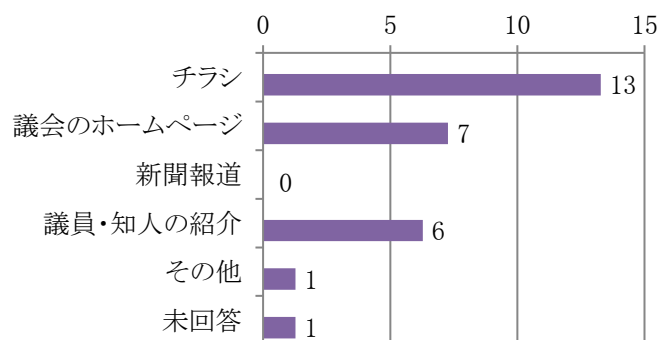


問2 議会報告＆意見交換会の開催は何で知りましたか？

※ 複数回答あり

(件、%)

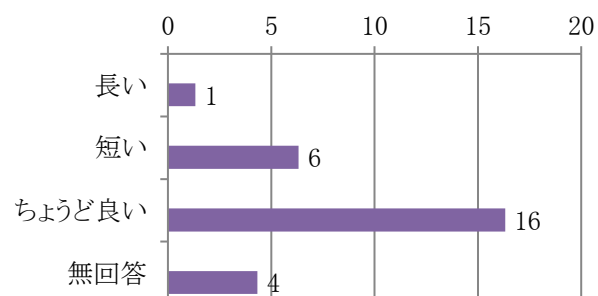
項目	回答数	割合
チラシ	13	46.4
議会のホームページ	7	25.0
新聞報道	0	0.0
議員・知人の紹介	6	21.4
その他	1	3.6
未回答	1	3.6
計	28	100.0



問3 意見交換会の時間はどうか？

(件、%)

項目	回答数	割合
長い	1	3.7
短い	6	22.2
ちょうど良い	16	59.3
無回答	4	14.8
計	27	100.0

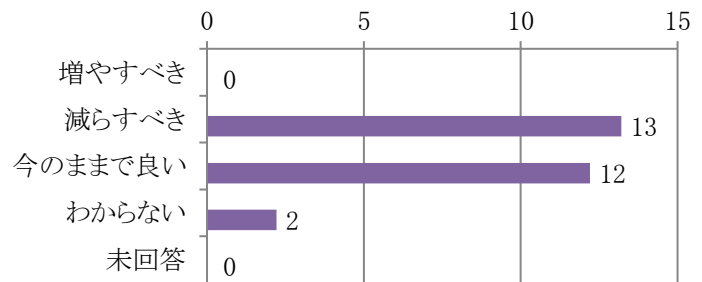


問4 意見交換会を踏まえ、今後の議員定数(現行19人)について、あなたのお考えとその理由をお聞かせください。

※ 複数回答あり

(件、%)

項目	回答数	割合
増やすべき	0	0.0
減らすべき	13	48.1
今のままで良い	12	44.4
わからない	2	7.4
未回答	0	0.0
計	27	100.0



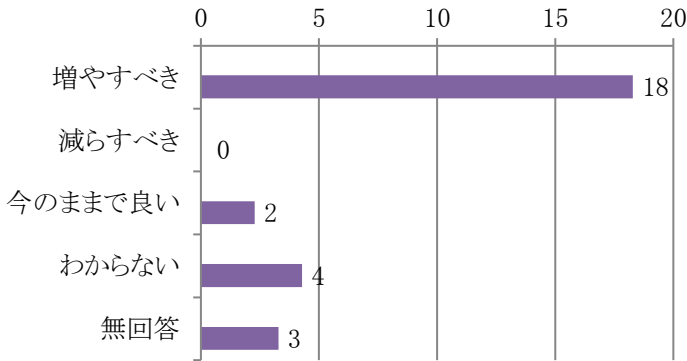
(理由)

人口比率的に止む無し
人口に見合う人数 (2～3人減)
他町村との均衡を
音更町は20人から18人に減。17人～18人にすべきと思う
17人
16人 (人口減)
16人
定数は15人、少数精鋭で臨んでほしい
資料から十勝管内・道内・道外の状況並びに議会運営委員会等でも検討されており、定数は減らすべきと思う。また、全員協議会で現状7人増員1人とあるが、毎年人口減少の中、資料や音更町から見ると15人程度が良いのではないかと
類似団体では14人～16人で運営しているが、幕別町では現行の定数が必要という理由が分からない。合併や住民からの意向を反映させるためと説明していたが、類似団体でも合併した町はあるし、住民意向を汲み取って反映させようとしている議員が、果たして何人いるのかなと疑問に思う。
14名から10名でも良い。(10年後)
議員の質が低下しないのなら、減らすのも可
高齢化社会まっしぐらで、子育て最中の若い人たちもどの階層も生きていくのが大変な時代。今は定数を減らさず、きめ細かい声を聴く体勢が必要
多数の意見が出るように人数は多いほうが良いのです
数年かけて減らしていく
無投票だった人口が減っているということで安易に減らさない。議会活動をもっと豊かにすることも考えて
19
高齢者が多くなり、議員が町民の声を聞く活動が必要と思う、減らすべきでない。
数の問題と捉えるべきではない
町民目線にたった場合に、報酬のみをあげて定員の見直しをしないのはあり得ない。まずは議員活動の見える化が必要なのではないですか？議員さんの活動実績が見えませんので。

問5 意見交換会を踏まえ、今後の議員報酬(現行の議員報酬月額212,000円)について、あなたのお考えとその理由をお聞かせください。

(件、%)

項目	回答数	割合
増やすべき	18	66.7
減らすべき	0	0.0
今のままで良い	2	7.4
わからない	4	14.8
無回答	3	11.1
計	27	100.0



(理由)

新しい人材の確保と質の向上
兼業できない議員、若い人も議員になるための条件整備を
仕事の内容からもっと報酬を上げて下さい
物価上昇、最低賃金を踏まえ
物価ですので
一定程度増やすべきだ、しばらく上げていない
令和7年の今でも、450,000円は必要です
262,000円～312,000円の範囲で良い
27万円位
5万増、262,000円、質の向上
25万円位
5万円が正しいとは思いますが、町民が良いと思う金額は2万円～3万円くらい
20,000円～30,000円(増額)
増額でも5万円が適正かの判断はつかない。町民感情も考えて
成り手不足という観点では増額すべき。成り手不足の解消のため、兼業でも議員になれるよう、議会運営の在り方も合わせて検討すべきではないでしょうか
現状なり手の少なさに対する対処療法的に
定数減とセット
他町村との均衡を
1人あたり月額10万円、年間150万円、仮に現行の定数であれば3,000万円を超える増額になる。少子高齢化、人口減少に伴い、税収は減ることが見込まれる。活動しているかどうか分からない議員の報酬を上げる必要はない。意見交換の中で、住民の意向を反映させるためにどんな活動をしているのかと問われても答えた議員は5人中2人しかおらず、活動していないから答えられないのではないかと印象すら受けた。本当に住民のために活動している議員の報酬を上げるのであれば話は分かるが、4年に1回しか活動していないような議員の報酬を上げるべきではない。
意見交換会までは増やすべきと思っていたが、資料を見るかぎりではわからない。増額するならば住民の理解が得られるに

問6 意見交換会を踏まえ、議員のなり手不足対策について、あなたのお考えやご意見をお聞かせください。

なろうとしても、お金がかかる。仕事内容も良くわからない。町民に向けて議員の仕事をアピールすべき。
報酬の引き上げ、議会、委員会の日時の工夫、子育て世代でも議員になれる工夫。
議員がそれだけで生活できる報酬にすれば、少しは、なり手もでるのでは。
町議会が何をしているのか知らない方が多いのでは。
議員に対して感心を持ってもらうこと。
議会活動の見える化。
議会活動が見えない、その対策を。
もっと情報公開へ努力。
町政についての町民の関心を増やす方策を考える。
議員報酬の引き上げ、なり手の方に議員活動を知ってもらう。
議員講習会、交流会の開催。
議員の仕事内容の講習（案）が良いと思います。
議会の構造が変わることが必要。
報酬もそのひとつですが、若い人が議員という仕事をやってみたいという意欲につながるような議会活動が必要かと。
報酬も上げて、議員の活動力をしやすくする。
年齢・資産・本業（副業）の給料による変動制。
なり手の育成するための手当を考えるべき。
地区代表、地区のボスが議員に成る時代ではない。
成り手不足を解消する＝報酬を上げるというのは、短絡的な気がする。 専門的に職業として関わる必要が町村規模であるのか疑問。

問7 今回の意見交換会感想又は町議会へのご意見・ご要望をお聞かせください。

時間が短いかも。
今回の議案は、定数と報酬についてだったせいもあったのかと思いますが、せっかく議員の方が5人も出席していた中、どなたも口を開いてくださらなかった事が残念です。
意見交換と言いつつ、テーブルを囲んでも発言せずにただ座っているのであれば、出席の必要はない。議会運営委員会に所属していないから詳しくは…といった発言もあったが、事前に資料は配布されているだろうし、日当も発生しているのだから勉強してきて然るべき。結局、多くの議員が他人事で終わっているのでは無いかと思う。年収が減っても、議員の報酬はアップ、定数は確保では住民としては納得できない。ただ、資料は自分達に不利になる内容であっても包み隠さずに出されていたと感じましたし、分かりやすかったです。
アンケートを適時実施したらよいのでは、将来の町づくり等も町民の考えを聴く会やアンケートを実施し町政に関心を持つ町民を増やせたらいいですね。
議会がなぜ定数なのかわかりません。議会の内容が問題では。町民の声をどう町政に届けられるのか、町の政策がどうなのか、もっと意見が出るよう1年に必ず1回は質問する事、何を考えているかわからない。
普段聞けない話は聞けたが、もう少し深く掘り下げて聞きたかった。
議員との意見交換の場がもっとあってもよいと思う。
若い人にも町議に参加したい思ってもらう。
町民と意見交換の場を可能な限り増すこと。
対話を多く持ってほしい。
議員全員と意見交換をしたい。
色々な意見を聞いて勉強になりました。町民多くの方が参加できる事を思っています。
議員と町民1対1の方が良いのでは。
開催時間が短く、参加者も少ない。
大変勉強になりました。議員の皆様には大変ご苦勞様でございます。本町の発展のためにご尽力を何卒宜しくお願い申し上げます。
また来たいです。
議員さん、ご苦勞さん。